

報道機関各位

熊本大学

平成28年熊本地震による 土砂災害リスク増大に対するバス送迎サービス を用いた要支援者の予防的避難促進政策の運用を開始

1 概要

熊本県南阿蘇村では、熊本地震により土砂災害リスクが増大しているため大雨時の避難の重要性が高まっています。熊本大学では、自力では避難できない高齢者等の要支援者に対して、明るいうちに乗合いタクシーで自宅まで迎えに行き、温泉施設でもある避難所まで連れていくバス送迎サービスを調査・企画し、南阿蘇村役場とともに運用を開始しました。

2 背景

南阿蘇村では、熊本地震の一連の地震活動により土砂災害の危険性がこれまで以上に非常に高くなっており、梅雨や台風時期の豪雨時には従来の予測を超えた範囲にまで土砂災害が発生する恐れがあります。人命を土砂災害から守るには早めの避難が重要ですが、自力では避難できない高齢者や身体の不自由な方については何らかの避難支援が必要となります。特に、土砂災害の危険時に家族や近隣コミュニティからの避難支援が必ずしも受けられない要支援者については、公的な避難支援サービスが求められます。こうしたニーズに対応するため、自力で避難できない高齢者等の要支援者を対象に、自宅と避難所間にバス送迎サービスを運行し予防的避難を実施します。これからの梅雨末期や台風時期の大雨に対して、住民避難の選択肢を広げる取り組みとしても期待されます。

この取り組みは、熊本大学が取り組んでいる熊本復興支援プロジェクトの一環（阿蘇自然災害ミチゲーションプロジェクト）でもあります。

3 内容

- 対象範囲 : 南阿蘇村の土砂災害警戒区域がある行政区
※既に地震による避難勧告が発令されている地区は除く
- 対象者 : 高齢者等の要支援者（自力で避難できない世帯） 12世帯15人
- 避難先 : ウィナス（南阿蘇村総合福祉温泉センター） : 南阿蘇村河陽4530
- 運用開始 : 7月7日（木）
- 利用料金 : 無料
- 実施者 : 南阿蘇村
- 協力 : 熊本県知事公室危機管理防災課
- 企画・支援 : 熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター
- 運行協力 : 予約型乗合いタクシー（地元タクシー業者2社利用）

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院自然科学研究科
附属減災型社会システム実践研究教育センター
担当：藤見・渡邊 TEL：096-342-3489